



Japanese Outreach

在欧日本人宣教

2020/12/20 NO.77 通算 NO.103

発行 在欧日本人宣教会

URL: <http://www.joutreach.org>

E-Mail: joutreach@gmail.com

委員長: 永井敏夫

〒168-0082 東京都杉並区

久我山 5-1-13-202

TEL & FAX: 03-5934-9709(嶋本)

郵便振替 00190-5-195499

プラハからポコイ・トビエ (平和があなたに)

——プラハ・コビリシ教会日本語礼拝牧師 孫信一 (ソン・シニル)、関梅羅 (ミン・メラ)

私たちが仕えるプラハ・コビリシ教会は、チェコ兄弟団福音教会(Evangelical Church of Czech Brethren)に属する教会です。2000年1月からチェコ語の礼拝とは別に韓国語礼拝が始められ、数年後から日本人の信徒が通訳を介して礼拝を共にするようになりました。チェコ在住日本人が次第に増える中で、日本語礼拝を独自に始める機運が高まり、2008年12月に在日大韓基督教会に属する私たち夫婦が韓国の教会から派遣され、以来日本語による礼拝をささげつつ、国際化するチェコ社会の中で、コビリシ多民族信仰共同体の形成に協力しています。



2020年に入ってから、ヨーロッパで新型コロナウイルスの感染が拡大し始め、チェコでも警戒が高まりました。コビリシ教会では、3月第一

日曜日にチェコ語・韓国語・日本語の合同礼拝をささげた後、集会制限のためしばらく会堂での礼拝が途絶えました。礼拝が再開できてからも、人数制限のため合同礼拝はささげられないでいる中で、10月後半からコロナ感染の第二波が深刻になり、クリスマス礼拝がどうなるか心配しています。(プラハ旧市街広場のクリスマスマーケットも、今年は開催が危ぶまれているようです。)

コビリシ教会は、毎年アドヴェントに入る前日に、近くの大規模精神病院の入院患者に贈るクリスマスプレゼント購入のためのバザーを開いています。韓国料理や日本料理が人気ですが、今年はコロナ事態のために、オンラインでのバザーとなりました。料理もテ

イクアウトということで、日本語礼拝からは稲荷寿司とおにぎりを出品します。日本料理は注目されるので、目を見張るようなメニューを出したいところですが、日本語礼拝出席者が少数ということもあり、思い通りには行きません。

クリスマスシーズンには、日本語礼拝主催で祝賀コンサートを開いてきましたが、これもまた今年は開催できそうにありません。例年、関梅羅宣教師が指導する女性合唱団グレイスシンガーズが中心となって、日本人音楽留学生の協力などで開いてきました。グレイスシンガーズは、日本人学校のお母さん中心のメンバーで、ほとんどがクリスチャンではありませんが、主に賛美曲を歌い、教会の合同礼拝で賛美を担当してもらっています。今年はコロナで練習もままならない状況ですが、年末に、コビリシ教会の会員たちとオンラインで合唱のビデオを作成する計画を立てています。

主の導きにより、プラハでの日本語礼拝が守られて来たことを感謝します。チェコ社会の中で、日本語を



通した福音の証しが、これから豊かに実ることを願うばかりです。在欧日本人宣教会はじめ、皆さんの祈りが大きな励みになっていることも、この場を通して感謝いたします。2020年のクリスマスが、それぞれの地域や教会にあって、新たな形で主の御恵みに満たされることをお祈りいたします。(11月20日)

お祈り頂いておりましたが、8月に父が亡くなりました。葬儀と納骨(分骨)をいわきキリスト教会において執り行って頂いたことが、大きな恵みでした。家族葬でしたが、記念会(納骨式)と合わせてのべ32名の



家族・親戚が参列し、みことばがはっきりと語られたことは、本当に感謝です。ここ数年に亘るいわきキリスト教会における交わりの祝福でありました。今後は父の介護はなくなりましたが、父が残していた仕事の一端を担い、施設にいる母の支えにもなり

たいと願っております。仕事を通して証の機会が与えられますように、お祈りください。(里佳子)

※写真は2011年の両親の最後の海外旅行、ウィーンを訪れたもので、その時ミュンヘンにも寄り日本語礼拝にも参加してくれました。

コロナ禍にあってドイツでもこの所感染者が広がり、11月は再びロックダウンとなりました。ミュンヘン



ン日本語教会では主日礼拝のみ可能な方は集まり(スカイプでも視聴可)、祈祷会はスカイプで行っています。平日

の諸集会は残念ながら中止としました。写真は10月の第2祈祷会の参加者です。今後少しでも早く対面での交わり学び、又祈り会が再開されるように願っています。尚12月12日(土)には始めてオンラインでのクリスマス祝会を行うことになりました。そういう試みも用いられますように。

又対外的には11月4日には欧州日本語教会教職者研修会がズームで行われ(写真)、又11月6日と7日



はシュトゥットガルト日本語キリスト教会の修養会もスカイプとなり、自宅PCの前での奉仕となりました。(11月9日)

ミュンヘン紀行《その3》白バラの祈り



ミュンヘンはナチスの初期の本拠地でもあります、当時その政策に異を唱え、チラシを配った為にも処刑されたミュンヘン大学の学生と教授がいました。1943年に刑死したショール兄弟と数人の学生達、ヒューバー教授です。熱心なクリスチャンでもあったソフィー・ショール(兄弟の妹)を主人公にした物語は「白バラ」或いは「白バラの祈り」として映画にも成っています。大学正門付近の広場には彼らの名前がつけられ、その歩道には彼らが配ったチラシが今も石版として貼りつけられています。彼らの勇気と信仰は今でも語り継がれています。

感謝と祈りの課題

- ☆ 新型コロナの感染拡大が収まり、教会活動、社会活動が取り戻せますように。
- ☆ ミュンヘン日本語教会のクリスマス礼拝とオンライン祝会の為に。
- ☆ 1月の教会総会で次期牧師の招聘を決められますように。
- ☆ 求道者とのコンタクトが保たれますように。

安藤廣之・里佳子宣教師(ドイツの連絡先)

Quidderstr. 16, 81735 München, Germany
Tel. +49-(0)89-51304192
gihigugmakoangdios@yahoo.co.jp (廣之師)
mouerikakomagami@gmail.com (里佳子師)

101号と102号に記載されていた安藤師ご夫妻のメールアドレスに一部誤りがございましたので訂正をさせていただきます。ご迷惑をおかけいたしましたことを、深くお詫び申し上げます。
編集チーム

神の前に真実に、他の人に対して誠実に、自分に対して正直に

——— Mission France Pour Christ 宣教師 宮坂鉄也

ボンジュール！ 北フランス、人口 4 万人ほどの町ヴァランシエンヌ(Valenciennes)で宣教活動をし、地元の小さな教会(フランス語による)で牧師をしています宮坂鉄也です。在仏早 16 年目、ジュネーブの聖書学院を卒業してから Mission France Pour Christ という宣教団体に働いています。

妻はドイツとフランス人のハーフ、思春期真っ只中の中学生の長男と小学生の男の子が二人います。私たち本来のわがままの問題に加え、「異文化同士の深い垣根を日常生活の中で具体的に超えて行くこと」を学ばなければいけない結婚生活を 15 年間 も守ってくださった主が、私たち夫婦を引き続き祝福して下さるよう、子育ての知恵が与えられるよう、「偽善」の落とし穴にはまって私たちのミニストリーが子供たちの躓きとにならないようにお祈りください。



神様の本当に不思議な導きによってここまで来ましたが、私たちの町には何とフランスで唯一のトヨタ工場があり、豊田市だけでなく日本中から来られる駐在員とご家族が 80 人程住んでいます。そればかりか地元在住のフランス人と結婚している日本人女性が 10 人弱この辺りで生活し日本人ママからなる LINE グループも存在します。同胞である日本人たちに妻とともに自然体で関わってこの地へ適応する手助けをしながら、イエス様の愛を証し救いへと導けますようにお祈りください。

羨望の眼差しで見られがちな文化大国フランスは、実は「厳しい宣教の地」です。イスラム教徒、ラテン

アメリカ、アフリカ出身の友人たちに神の話をする事はタブーではありません。しかし周りには 95% のフランス人たちは、おそらく人生のうちで一度でも神様のことを真剣に考えたことがないと思います。個人主義で信仰に関心の薄い世俗化した社会にどっぷり浸かる彼らに福音を宣べ伝えるには、従来の一方通行で一辺倒な伝道方法では全く歯が立ちません。使徒パウロがしたようなそれぞれの文化背景に見合った「オーダーメイド伝道」、福音の真理は曲げずに現代人の問題意識、悩みや痛みを最大限に敏感でありつつイエス様の愛を伝えるにはどうしたら良いかを日々模索しています。そのきっかけ作りを兼ね次男と一緒に地元のサッカークラブに 9 月から入り、子供たちや、20 代から 40 代の大人とグラウンドで貴重な時間を過ごしています。スポーツ交流を通して

主の最適な導きがなりますようお祈りください。

私は学生時代に救われて 20 年が経ちます。振り返ると常に「人と自分を比較する」日本人の悪しきメンタリティーとともに人生を歩んできました。しかし主イエス様にある恵みにより、やっと等身大の自分のままで主に仕えることを学んでいます。「神の前に真実に、他の人に対して誠実に、自分に対して正直に」をモットーに生きられるようお祈りください。

フランス宣教に興味のある方、ニュースレターをご希望の方は、直接私のメールアドレスにご連絡ください。感謝です (t.miyasaka@missionfpc.fr)。

(11 月 3 日)

事務局からのお知らせ

* 人々が繋がり広がることを願って

新型コロナウイルスの拡大蔓延により、在欧日本人宣教会の活動もズームによりなされています。前回の機関誌発行後、欧州宣教祈禱会(10月3日)、ブリッジ・ビルダーズ・リトリート(10月17日、11月28日)、クリスマス会(12月5日)を企画し、様々な方が参加くださいました。スタートを日本時間で 15:00 や 19:00 にしたところ、ヨーロッパの様々な地域のみなさんの参加がありとても良い出会いと交わりの場になりました。

11月28日のリトリートの聖書研究には8か国からの参加がありました！(フランス、ドイツ、フィンランド、デンマーク、スイス、ベルギー、イギリス、日本) 互いに繋がり、聖書を学び、交わりをし、祈りたいというみなさんの思いに、私たちも祈りながら応答していきたいと思えます。次回の欧州宣教祈禱会は2月6日(土) 15:00 からの予定です。



(写真：ブリッジビルダーズリトリートにて)

* 機関誌発送について

機関誌は以前は事務局で手作業によりなされていましたが、それを改めて 101 号の発行より「はこぶね便」に発送の委託をお願いしています。

(<https://hakobunebin.com/company/>)

またヨーロッパの各教会、集会をはじめご希望のところには PDF での送信もしております。

リレーエッセイ

喜びで満たされる心

ヨハナ・光 (ひかる)・トムセン

今年、どのように心が喜びで満たされたかという証をさせて頂きたいと思ひます。恵みにより、冬から夏にかけて日本の大学への交換留学が許されました。実は、2年前に日本のキャンパスミニストリーに関心を持った時から、留学したいと思っていました。新型コロナの影響でオンライン授業になりましたが、神様は不思議な方法でズームでのチャットなどでノンクリスチャンの友達を与えてくださいました。

この間に、祈ることが二つありました。それは『弟子とは何か』、『聖霊で満たされるとはどういう意味か』というものでした。神様は不思議な方法でこの祈りに答えられました。日本滞在中、ホストファミリーを通して、ある牧師に出会いました。その牧師と弟子訓練のことを深く話すことができました。その中で洗礼の話になりました。洗礼の聖書箇所を牧師と読んでいた時に、目からウロコが落ちたように急に洗礼の大切さが明らかになりました。みことばが心の奥底に届いて、感情的にも動かされ、洗礼を受ける決心をしました。(幼児洗礼は受けていました。) ルカ 3:21-22 から、洗礼は神様が喜ばれるものだと気づかされたのです。とても印象的だったのが、水の中に完全に浸された時でした。一番基本的な息をすることも見ることもできずに、ある意味『死』を味わったようでした。それは『自分の古い人生を捨てキリストとの新しい人生を生きる』ことでした。

洗礼を受ける前に感じていた喜びより、洗礼の後の喜びの方がはるかに大きいのです。この喜びは神様の言葉に従ったからで、改めて自分の為ではなくイエス様の栄光と御国の建設の為に生きようと確信できました。初めに与えられた『弟子とは何か』という私の祈りは、まず自分が弟子になることだったのです。(11月7日)

リレーエッセイのバトンは、次回、デュッセルドルフ日本語教会の渡邊航さんにパスされます。どうぞご期待ください!



会計報告

2020年度会計報告(2020年7~9月) (単位:円)

(収入)	2020.7~9	2020.4~累計	備考	(支出)	2020.7~9	2020.4~累計	備考
1. 献金	991,600	1,656,100		1. 宣教師支援金	742,500	1,201,500	安藤師指定(含:夏季)
1) 一般献金	439,100	621,600	宣教会一般	2. 広告宣伝費	83,284	209,579	機関紙発行費
2) 指定献金	552,500	1,034,500	安藤師指定	3. イベント・集会費	2,739	2,739	帰国者フォローアップ費
2. 雑収入	0	2		4. 事務局費	43,238	79,580	会議運営費
3. 繰越金	552,328	509,463		5. 宣教費	0	0	
				6. 予備費	54,000	54,000	宣教協力支援費等
				7. 繰越金	618,167	618,167	
合計	1,543,928	2,165,565		合計	1,543,928	2,165,565	

在欧日本人宣教会への献金者ご芳名(50音順敬称略)

●個人：青木早苗、安藤邦子、阿江靖子、石橋秀則、伊藤明生、岩崎建男・三恵子、甲斐博、川田倫、越川壽丸・花子、近藤真一郎・美穂子、斎藤篤、佐竹るり子、竹内豪・里子、中島雅子、長橋和彦、溝呂木武幸、守田章恵、森永憲治、山内真澄、山田称子、柳橋英寿、横山基生・好江

●教会・団体：赤羽教会、浅虫教会、イザール祈りの友、岩井キリスト教会、永福南キリスト教会、キリスト教朝顔教会、釧路キリスト福音館、国分寺バプテスト教会、小松川教会、立川駅前キリスト教会、津豊ヶ丘キリスト教会、東京新生教会、浜田山キリスト教会、むつキリスト教会、OMF Chapel of Adoration

●欧州での献金：磯村寿彦、井野葉由美、関谷寛信・典子、スイス日本語福音キリスト教会(欧州での献金は上記の献金額には含まれておりませんが、感謝をもってご報告いたします。)

編集後記 「朝で寒くなったもんでちょっと起きてまわしなかなって分かつともぬくとい布団から出られせん。」(名古屋弁。訳：朝はとて寒くなったので早く起きて支度しなきゃいけないと分かっているけど暖かい布団から出られません。) 名古屋にて機関紙編集の奉仕を

イザール祈りの友への献金者ご芳名(50音順敬称略)

総献金額：407,000円(2020年7-9月)

イザール祈りの友への献金は、在欧に送金される時期により、上記の表に正しく反映されないことをご了承ください。

●個人：石橋秀則、岡崎修市、尾田イネ、木口恒哉・真理子、寺尾恵理子、中泉栄次、芳賀聡・みえ、堀田悦子、柳橋英寿、匿名

●教会・団体：浦和福音自由教会、岐阜キリスト教会、東京FM小金井、奈良福音教会、みよし福音キリスト教会、在欧日本人宣教会



Facebookで最新情報をご覧になれます!
<https://www.facebook.com/ziou.jom>

している西迫・斎藤より、今回もほっこり編集後記をお送りします。コロナ禍のクリスマスとなりましたが、日本で、欧州で、世界で、皆さまのご健康が守られ、温かなクリスマスを過ごされますよう、お祈りいたします。次号の発行は3月の予定です。メリークリスマス!